

## 平成28年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	海産動物の自然史学的研究法		
実習内容	(3月は国立科学博物館と共催の自然史学の実習です。)		
	<p>多様な海産動物を採集し、観察や講義を通じて自然史学的研究法を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、 小型ドレッジによる底生動物の採集と水中テレビカメラによる海底観察、潮間帯の磯の動物採集、形態査定による研究法</li> <li>2、 研究用標本として保存するための手法、海産動物の多様性と系統分類の講義</li> <li>3、 DNA 情報を利用した動物の種同定の実習</li> <li>4、 プラクトン性の幼生のモデルとして、ウニの初期発生から五放射相称のウニ成体までの全生活史の観察</li> <li>5、 複数の動物群の発生・幼生形態を観察しながら系統関係を考察する比較発生学</li> </ol>		
実習内容キーワード	自然史学、ドレッジ、磯採集、ウニ、受精、発生、水中テレビカメラ		
担当教員氏名・所属・役職名	清本正人・お茶の水女子大学・准教授 濱中玄・お茶の水女子大学・特任講師 廣瀬慎美子・お茶の水女子大学・特任講師		
協力教員氏名・所属・役職名	並河洋 (国立科学博物館動物研究部・研究主幹) 他に大学・博物館から発生学者や分類学者数名を予定		
対象学生・学年	学部学生・院生	開講期間	平成29年3月を予定 (募集要項、ホームページで確認のこと)
開講大学・施設名	お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究センター		
施設の住所	〒294-0301 千葉県館山市香 11		
電話	0470-29-0838	F a x	0470-20-9011
e-mail	kiyomoto.masato*ocha.ac.jp (*に@を入れてください)	Web Site	<a href="http://marine.bio.ocha.ac.jp/">http://marine.bio.ocha.ac.jp/</a>
交通案内	東京駅八重洲南口から高速バス館山駅下車、または JR 内房線で館山駅。JR バス (西岬方面) で約15分、「長通り」下車、徒歩1分。		
費用	1日約2,000円		
授業科目名	公開臨海実習		
単位数	2単位	定員数	20名
授業料の徴収について	国・公・私立大学を問わず不徴収		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	書類選考。締め切りは募集要項やホームページで確認のこと。		
選抜結果連絡法	e-mailによって、履修に必要な情報とともに本人に連絡する。		